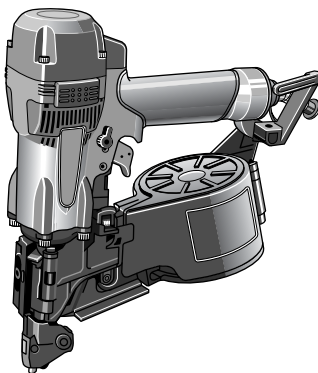
マックス釘打機スーパーネイラ

HN-65Z1

取扱説明書

緊結金具穴狙い専用
スーパーネイラ

業務用・プロ用

⚠ 警告

- ●使用前に必ず取扱説明書を読む。
- ●使用の際は、作業者およびまわりの人も必ず保護メガネを着用する。
- ●安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。
- ●打つ時以外は絶対にトリガに指をかけない。
- ●射出口を絶対に人体に向けない。
- ●移動する時、使用しない時、調整・修理・ネイル装填の時は必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。
- ●フック使用の時は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。
- ●本機使用の際は、スーパーネイラ専用エアコンプレッサ、専用エアホースを必ず使用する。
- ●揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。
- ●異常を感じたら絶対に使用しない。
- ●金具の穴を狙い打つ時は穴狙いガイドの先端を金具の穴に確実に入れる。
- ●金具の穴を狙い打つ時は本機を部材に対して直角に保持する。

●この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
●本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

このたびは、マックス釘打機スーパーネイラをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

■表示について

表示	説明
	この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
⚠注意	この表示は取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。また、取扱いを誤った場合には、釘打機本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される場合を表しています。

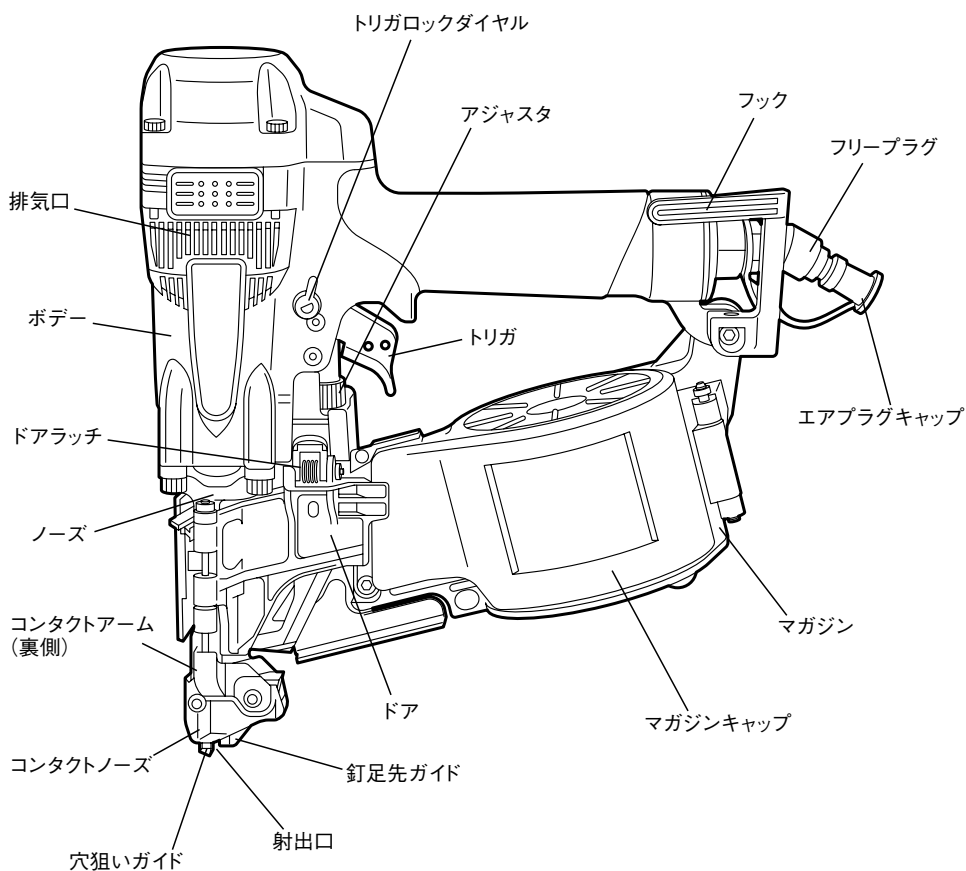
■絵表示について

この記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な禁止内容です。

目　　次

1 各部の名称

トリガロックダイヤル
アジャスタ
フック
フリープラグ
排気口
ボデー
トリガ
エアプラグキャップ
ドアラッチ
ノーズ
コンタクトアーム
（裏側）
マガジン
ドア
マガジンキャップ
コンタクトノーズ
釘足先ガイド
射出口
穴狙いガイド

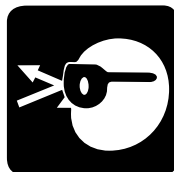
⚠安全作業のために

本機は、緊結金具（厚さ1.2～3.2mmのCマーク金物、Zマーク金物）の穴を狙って釘を打ち込み、木材に止めることを目的とした釘打機です。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

作業前

⚠警 告

❶使用の際は、作業者およびまわりの人も必ず保護メガネを着用する。

釘打作業をする時、ネイルを連結しているワイヤが飛んだり、打ち損じのネイルがはね返り、眼に入ると失明する恐れがあります。作業する本人はもとよりまわりの人も必ず保護メガネを着用してください。

❶

❷防音保護具を着用する。

釘打作業をする時、排気音や排気エアから耳を守るため、作業環境に応じて防音保護具（耳栓等）を着用してください。

❷

❸作業環境に応じた防具を着用する。

作業環境に応じてヘルメット、安全靴等の防具を着用してください。

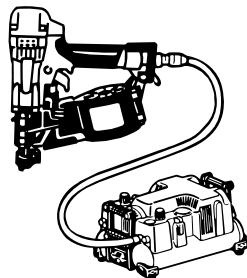
❸

⚠ 安全作業のために

⚠ 警告

❹本機使用の際は、スーパーネイラ専用エアコンプレッサ、専用エアホースを必ず使用する。

本機は使用性能を向上させるため、使用圧力を従来の釘打機より高く設定しております。本機使用に際しては、専用エアコンプレッサ、専用エアホースが必ず必要です。圧縮空気以外の高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）を使うと異常燃焼をおこし爆発の危険を伴いますので、専用エアコンプレッサ、専用エアホース以外は絶対に使用しないでください。

❹

❺エアホース接続前に必ず点検する。

エアホースを接続する前に下記の点検を必ず行ってください。

1.ネジの締め付けが緩んでいたり、抜けていないか。
2.各部部品が外れていたり、傷んでいないか。
3.コンタクトアームがスムーズに動くか。
4.トリガをロック（引けないように固定）できるか。
　（11ページ参照）

不完全なまま使うと、事故や破損の原因となります。異常のある場合は、お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱へ点検・修理に出してください。

❺

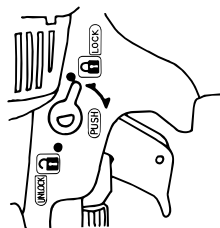
❻エアホース接続の時には必ず厳守する。

エアホースを接続するときは誤って作動させないよう下記のことを必ず守ってください。

1.トリガをロック（引けないよう固定）する。
2.コンタクトアームに触れない。
3.コンタクトアームを押し上げた状態にしない。
4.射出口を人体に向けない。

❻

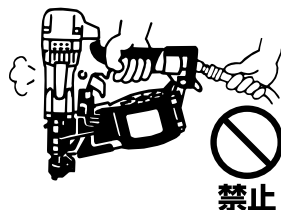
⚠安全作業のために

警告

❼エアホース接続時には必ず確認する。

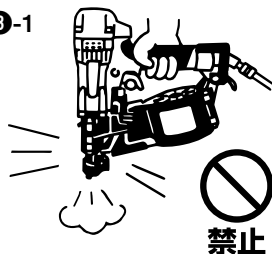
使用前にはネイルを装填しないでエアホースを本機に接続し下記の確認を必ず行ってください。

1.エアホースを接続しただけで作動音がしないか。

2.エアもれや異常音がしないか。

エアホースを接続しただけで作動したり、エアもれや異常音がする場合は故障しています。そのまま使うと事故の原因となりますので、絶対に使用しないでください。異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

❼

❽安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。

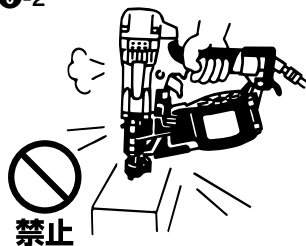
使用前には必ず安全装置が完全に作動するか、確認してください。ネイルを装填しないでエアホースを接続し、トリガロックダイヤルをUNLOCK（アンロック）にセットして確認してください。（11ページ参照）

※下記の場合には安全装置が故障していますから本機を絶対に使用しないでください。

1.トリガを引いただけで、作動音がする。

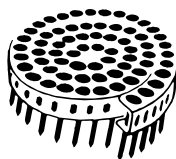
2.コンタクトアームを対象物に当てただけで、作動音がする。

異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

❽-1

❽-2

❾指定ネイルを必ず使用する。

指定されたネイルと異なるものを使用すると本機の故障や事故の原因となりますので、必ず指定のネイルをご使用ください。（13ページ参照）

❾

⚠ 安全作業のために

⚠ 警 告

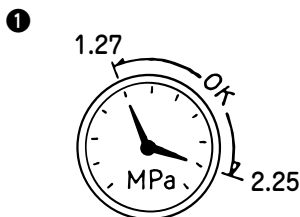
⑩作業場所を常に整理する。

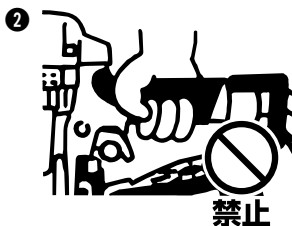
作業場所が乱雑だとつまづくなどして思わぬ事故の原因となります。作業場所は常に整理整頓をして安定した姿勢で作業を行ってください。

⑩
作業中

⚠ 警 告

❶使用空気圧を必ず守る。

本機の使用空気圧範囲は1.27～2.25MPa（約13～23kgf/cm²）です。対象物によりその範囲内で調整し使用してください。2.25MPa（約23kgf/cm²）を超えた圧力で使用すると本機の寿命を早めたり損傷によって危険を生じる恐れがあります。

❶
❷打つ時以外は絶対にトリガに指をかけない。

トリガに指をかけたまま本機を取り回し、誤って発射した場合は思いがけない事故につながります。ネイルを打つ時以外は絶対にトリガに指をかけないでください。

❷
❸射出口を絶対に人体に向けない。

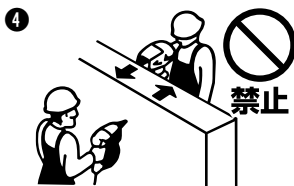
射出口を人に向け、誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。また、射出口付近に手足等を近づけての作業は危険ですからさけてください。同時に打ち損じたネイルが人に当たらないよう作業中はまわりの人に注意をはらってください。

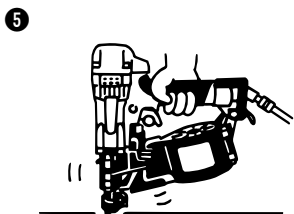
❸

⚠ 安全作業のために

⚠ 警 告

❹向い合わせの釘打ちは絶対にしない。

向い合って釘打作業をすると、打ち損じたネイルが前の作業者にあたり、思わぬ怪我をすることがありますので、向い合わせの釘打ちは絶対にしないでください。

❺射出口を確実に対象物に当てる。

射出口を確実に対象物に当てないと、一度打ったネイルや木の節などに当たった場合ネイルがはねたり、それたりして大変危険です。また、本機が強く反発することもあり危険ですから、射出口を確実に対象物に当ててください。

❻揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。

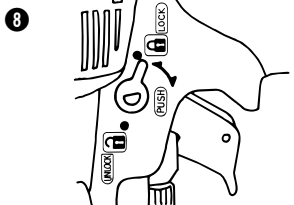
本機やエアコンプレッサを揮発性可燃物（例：シンナー、ガソリン等）のそばで使うとネイル打込時の火花による引火や、空気といっしょに吸入圧縮され、爆発の危険を伴いますので、揮発性可燃物のそばでは絶対に使用しないでください。

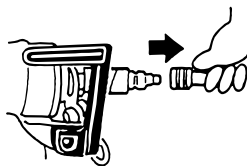
❼移動する際は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

エアホースを接続した状態でトリガを引いたまま本機を持ち歩いたり、手渡し等をし、誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。移動する際はトリガをロックし、エアホースをはずしてください。

❽フック使用の時は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

フック使用の時は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずしてください。

⚠警告

❾作業中断時は必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

作業中のネイル装填、調整及びネイルづまりを直すときは誤ってネイルを発射すると危険ですから、必ずトリガをロックし、エアホースをはずしてください。

❾
❿異常を感じたら絶対に使用しない。

作業中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

❿
⓫トリガを引く前に必ず穴狙いガイドを金具の穴に入れる。

穴狙いガイドが金具の穴に入らないとネイルが飛散して危険です。必ず穴狙いガイドを金具の穴に入れてから機械を直角に保持しトリガを引いてください。

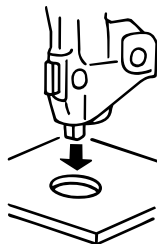
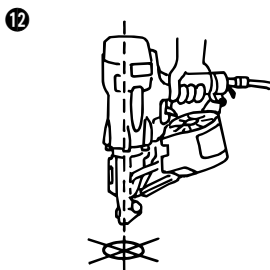
⓫
⓬部材に対して機械を必ず直角に保持する。

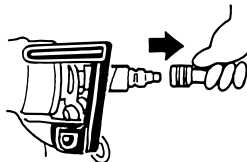
部材に対して直角にネイルを打たないとネイルが斜めに金具に当たり、ネイルが飛散したり釘頭が破損し飛散する場合もあり危険です。必ず部材に対して直角に釘打ちを行ってください。

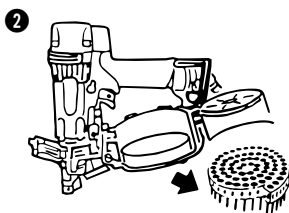
⓬

⚠ 安全作業のために

作業後

⚠ 警告

❶作業終了時には必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

作業終了時には、必ずトリガをロックし、エアホースをはずしてください。

❷作業終了時には必ずネイルを抜き取る。

ネイルをマガジン内に残しておくと、次に使用するときうっかり手を触れたり、誤って作動させた場合、思わぬ事故につながることがあります。作業終了時には必ずマガジン内のネイルを抜きとってください。

❸本機を絶対に改造しない。

本機を改造すると、本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。

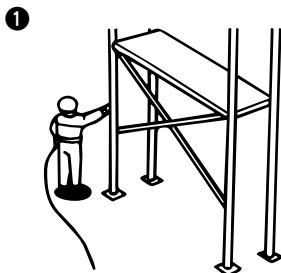
⚠ 安全作業のために

屋外作業について

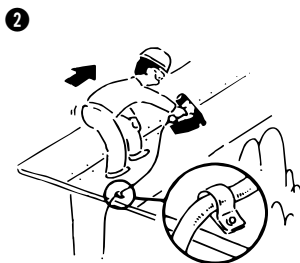
⚠ 警告

❶足場の安全性を充分に確認する。

足場を使っての高所作業の場合、釘打作業中に落ちることのないように充分足場の安全性を確認してください。

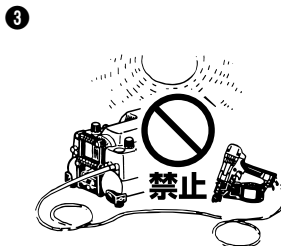
❶

❷エアホースの確保。

高所作業の場合、エアホースは作業場所の近くに必ず固定箇所を作ってください。これは不用意にホースが引っぱられたり、引っかかったりしたときの危険を防ぐためです。また、ホースのたるみやねじれのないように注意してください。

❷

❸直射日光をさける。

本機やエアセット、エアコンプレッサは直射日光に長時間あてたまま放置しないでください。また、エアコンプレッサはできるだけ日陰に設置して使用してください。

❸

打ち方

❹水平面の釘打ち

前進姿勢で釘打作業を行ってください。安全で疲労が少なく、正確で速い作業ができます。後退しながらの作業は足をとられるなど危険です。

❹〔水平面〕

⚠ 安全作業のために

⚠ 警 告

❺垂直面の釘打ち

本機を手の届く最も高いところまで差し上げ、上から順に下へ釘打作業を行ってください。疲労の少ない作業ができます。

※内、外壁の同時打ちは絶対にしないでください。

❺〔垂直面〕

❻傾斜面の釘打ち

下から上に向かって前進姿勢で釘打作業を行ってください。上から下に後退すると足を踏みはずす危険があります。

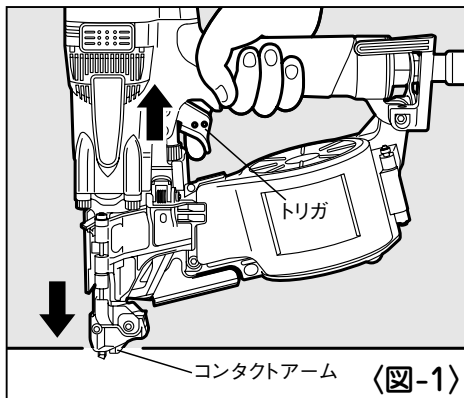
❻〔傾斜面〕

③ ⚠ 安全装置について

釘打作業の安全を確保するため、本機には次のような安全装置がついています。

●メカニカル安全装置

これはコンタクトアームとトリガが同時に作動しないと発射しないメカニズムです。つまりトリガを引いただけではネイルは発射せず、また、コンタクトアームを打込対象物に当てただけでもネイルは発射しません。コンタクトアームを対象物に当てる動作とトリガを引くという動作が重なってはじめてネイルは発射されます。〈図-1〉

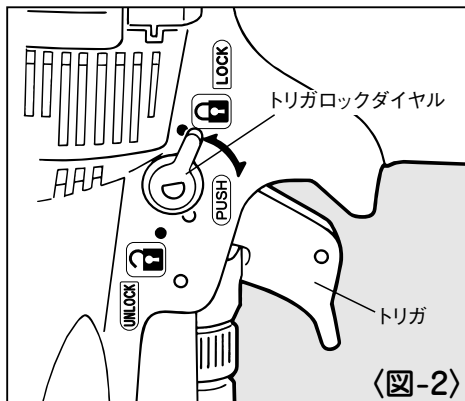
〈図-1〉

●DSバルブ（ダブルシーケンシャルバルブ）

本機はDSバルブ（ダブルシーケンシャルバルブ）を採用しています。DSバルブは、コンタクトアームを対象物に押し当てた後に、トリガを引かないとネイルが発射されない単発打ち専用の構造となっています。

3 ⚠ 安全装置について

●トリガロック装置

本機にはより安全に作業していただくためにトリガロック装置を標準装備しています。トリガロック装置とは、作業しないときに本機の使用者の意志によってトリガをロック（引けないように固定）することにより作動できないようにすることができる装置です。〈図-2〉

〈図-2〉

釘打作業を行う際はトリガロックダイヤルを押し回し、UNLOCKの位置にセットしてから作業を開始してください。

ネイルを打っているとき以外はトリガロックダイヤルを押し回し、LOCK（ロック）の位置にセットしエアホースをはずしてください。作業を始める場合はトリガロックダイヤルを押し回しUNLOCK（アンロック）の位置にセットしてください。

⚠ 警告

●**安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。**

使用前には必ず安全装置が完全に作動するか、確認してください。ネイルを装填しないでエアホースを接続し、トリガロックダイヤルをUNLOCK（アンロック）にセットして確認してください。

※**下記の場合には安全装置が故障していますから本機を絶対に使用しないでください。**

1.トリガを引いただけで、作動音がする。

2.コンタクトアームを打込対象物に当てただけで、作動音がする。

3.トリガを引いてからコンタクトアームを対象物に当てる順序で作動音がする。

異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

仕様及び付属品

商　　品　　名	マックス釘打機 スーパーネイラ
商品記号	HN-65Z1
バルブ機構	ヘッドバルブ方式
ネイル送り機構	フィードピストンバネ送り方式
マガジン形式	マガジンキャップ開閉方式
寸　　法	(H) 292 ×(W) 109 ×(L) 291 mm
質　　量	1.9kg
ネイル装填数	100本
使用空気圧範囲	1.27〜2.25MPa (約13〜23kgf/cm^2)
使用エアコンプレッサ	マックス スーパーエア・コンプレッサ AK-HL7500E、AK-HL1210E、AK-CH7700E、AK-CL7700E
使用ホース	マックス スーパーエア・ホースシリーズ
使用オイル	タービン油1種ISO VG32 (JIS1号90番)
安全装置	メカニカル方式、DSバルブ、トリガロック装置
付　属　品	保護メガネ、ジェットオイラ(油入)

〈使用ネイル〉

緊結金物用プラシート連結釘		
足長さ	釘　種	商　品　名
40mm	鉄メッキ釘	Z-FCP40W3(ZN)
65mm	鉄メッキ釘	Z-FCP65W3(ZN)

⚠警告

●指定ネイルを必ず使用する。

指定されたネイルと異なるものを使用すると本機の故障や事故の原因となりますので、必ず指定のネイルをご使用ください。

5 使用方法

使用前に本機とエアコンプレッサを接続しないで使い方を覚えてください。

【ネイルの装填方法】

⚠ 警告

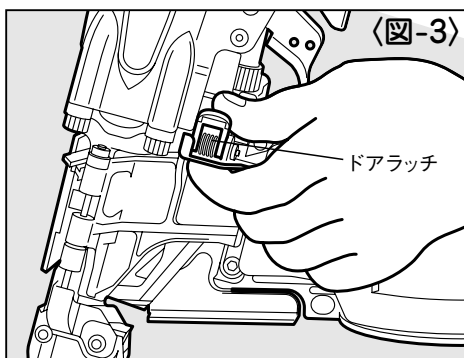
●ネイルを装填するときは、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

手順

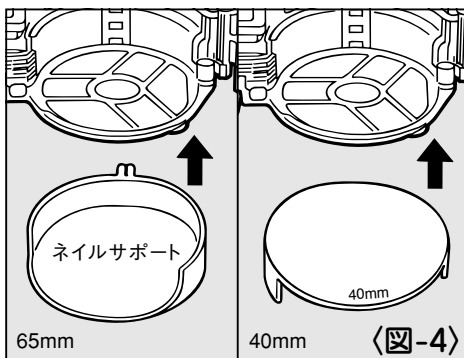
❶トリガをロックし、エアホースをはずします。

❷ドアとドアラッチに指をかけてドアラッチを下へ押しつけながら左へ開きます。

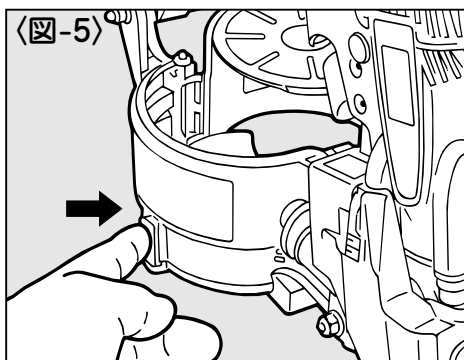
〈図-3〉

〈図-3〉

❸マガジンキャップを右へ軽く回して開きます。

❹40mmのネイルを使用する場合は、ネイルサポートを40の刻印の見える状態で取り付けてください。65mmのネイルを使用する場合は、ネイルサポートを上下を裏返して取り付けてください。　〈図-4〉

〈図-4〉

また、取り外す際はマガジン裏側のラッチを指で押し、取り外してください。

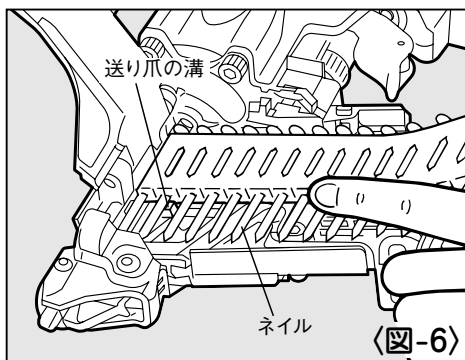
〈図-5〉

〈図-5〉

⚠ 注 意

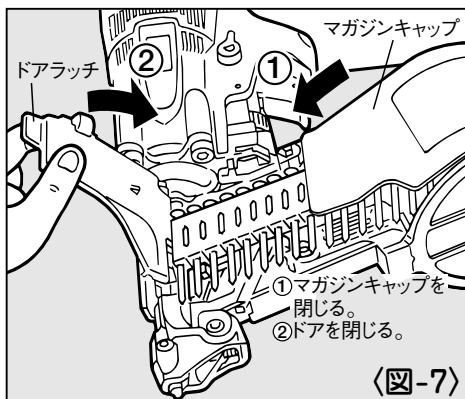
●使用するネイルに合わせ、必ず適正位置にネイルサポートをセットしてください。不適正な位置で使用するとネイルの送り不良が発生します。

❺ネイルをマガジンに入れネイルを引き出し、送り爪の溝にセットします。

〈図-6〉

〈図-6〉

❻マガジンキャップを閉じます。

❼ドアとドアラッチに指をかけてドアラッチを下へ押しつけながら右へ回して完全に閉じます。〈図-7〉

〈図-7〉

【打ち方】

本機はDSバルブ（ダブルシーケンシャルバルブ）を採用しています。DSバルブは、コンタクトアームを対象物に押し当てた後、トリガを引く単発打ち専用の構造となっておりますので狙った場所に一発一発より一層確実に打つことができます。

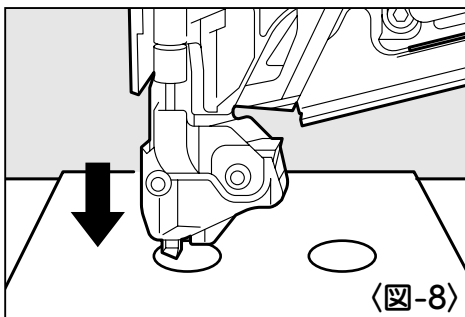
手順

❶トリガロックダイヤルを押し回し、UNLOCK（アンロック）の位置にセットします。

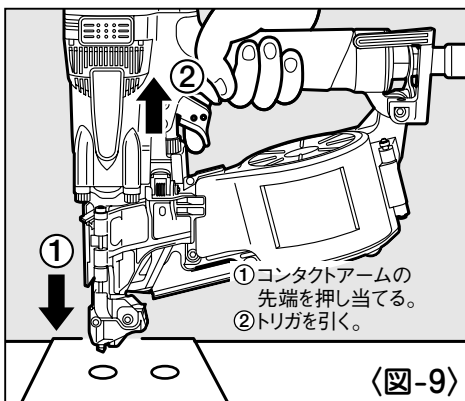
❷金具の穴に穴狙いガイド（銀色）の先端を確実に入れます。〈図-8〉

❸部材に対して直角に機械を保持し、穴狙いガイドの先端をしっかり押し当ててからトリガを引いてください。〈図-9〉

〈図-8〉

〈図-9〉

⚠ 注 意

●トリガを引いた直後に本機を部材から離すと釘浮きの原因となります。ネイルを打ちきるまで本機をしっかりと保持してください。

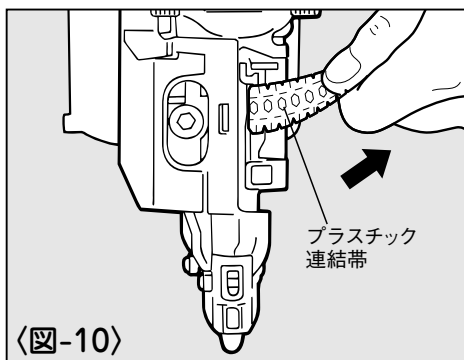
❹トリガを引いたままで、再度コンタクトアームを対象物に当ててもネイルは発射されませんので、トリガから指をいったんはなしてから❷❸の操作を繰り返し行ってください。

⚠ 警 告

●トリガを引く前に必ず穴狙いガイドを金具の穴に<u>入れる。</u>
穴狙いガイドが金具の穴に入らないとネイルが飛散して危険です。必ず穴狙いガイドを金具の穴に入れてから機械を直角に保持しトリガを引いてください。

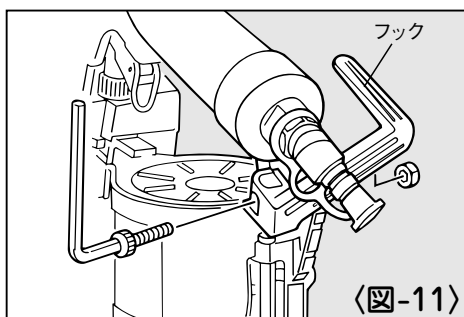
●部材に対して機械を必ず直角に保持する。
部材に対して直角にネイルを打たないとネイルが斜めに金具に当たり、ネイルが飛散したり釘頭が破損し飛散する場合もあり危険です。必ず部材に対して直角に釘打ちを行ってください。

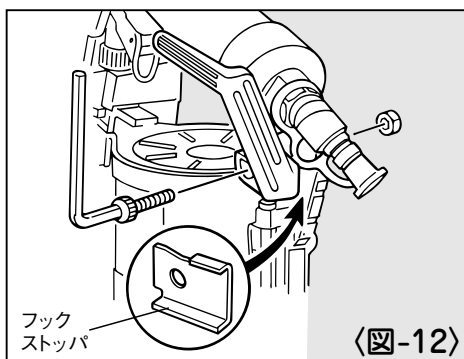
【プラスチック連結帯の切り方】

プラシート連結ネイルを打っていますと、ノーズよりネイルのプラスチック連結帯がでてきますので→の方向に引きちぎってください。〈図-10〉

〈図-10〉

【フックの方向の変え方】

フックは2方向に向きを変えることができます。フックが本体右側に出っ張るように位置を変えて取り付ける場合は、取付の六角穴付ボルトを六角棒スパナ4ではずし、フックストッパを外して位置を変えてから再度組付けてください。〈図-11〉

〈図-11〉

フックが本体左側に出っ張るように、元の位置に取り付ける場合は、フックストッパをはさんで取り付けてください。〈図-12〉

〈図-12〉

6 配管についての注意

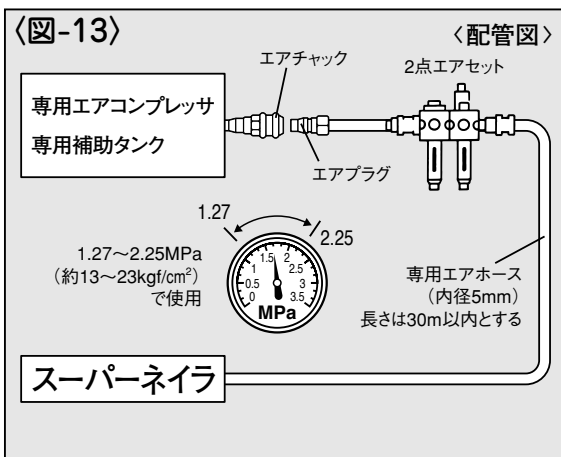
⚠ 警告

●本機使用の際は、スーパーネイラ専用エアコンプレッサ、専用エアホースを必ず使用する。

本機は、使用性能を向上させるため、使用圧力を従来の釘打機より高く設定しております。使用に際しては、専用エアコンプレッサ、専用エアホースが必要です。圧縮空気以外の高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）を使うと異常燃焼をおこし爆発の危険を伴いますので、専用エアコンプレッサ、専用エアホース以外は絶対に使用しないでください。

また、本機、専用エアコンプレッサ、専用エアホースとも、エアプラグ、エアチャックが専用のものとなっており市販の物とは互換性がありませんので、他の機器との接続はできない仕様になっております。改造・加工等して他の機器を使えるように絶対にしないでください。

❶動力源は必ずマックス専用エアコンプレッサを使用してください。高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）等は絶対に使わないでください。

❷接続するエアホースもマックス専用エアホースを使用してください。〈図-13〉

エアホースの接続

⚠ 警 告

●エアホース接続の時は必ず厳守する。

エアホースを接続する時は誤って作動させないように下記のことを必ず守ってください。

1.トリガをロックする。

2.コンタクトアームに触れない。

3.コンタクトアームを押し上げた状態にしない。

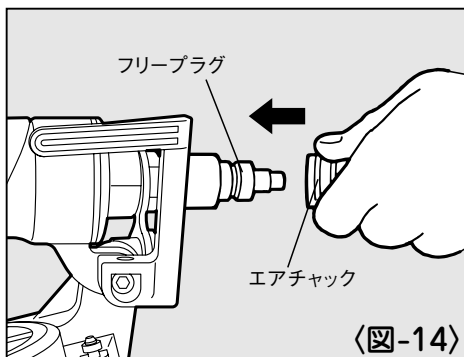
4.射出口を人体に向けない。

手順

❶トリガをロックします。

❷フリープラグからエアプラグキャップをはずします。

❸フリープラグにエアホースのエアチャックを接続します。 〈図-14〉

〈図-14〉

⚠ 警 告

●作業中断時は必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

打込状態の確認と空気圧・アジャスタの調整

本機には打込み深さを調整できるアジャスタが装備されています。打込みすぎ、釘浮きは保持力が低下しますので作業の際には打込状態を確認して、アジャスタで深さを調整してください。〈図-15〉

⚠ 警告

●調整の時は必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

手順

❶トリガをロックし、エアホースをはずします。

❷ネイルを装填します。

❸エアコンプレッサの圧力を2.0MPa（約21kgf/cm²）に合わせてセットします。

❹本機にエアホースを接続し、トリガロックダイヤルをUNLOCK（アンロック）にセットします。

❺アジャスタの調整（ネイルの打込調整）の前に一度テスト打ちしてください。打込みたい深さを確認します。

❻トリガをロックし、エアホースをはずします。

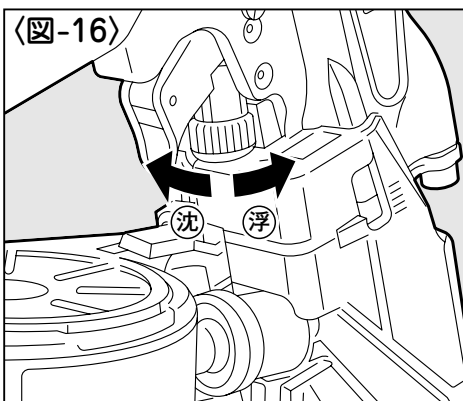
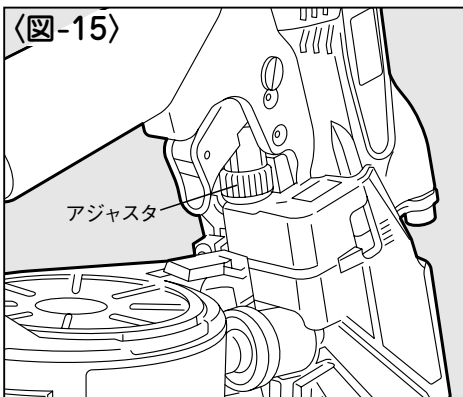
❼ネイルを取り出します。

❽アジャスタを回し調整します。**〈図-16〉**

※アジャスタを1回転させると約1mm上下します。

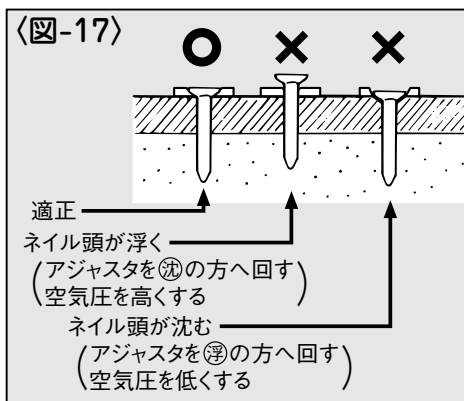
❾本機にネイルを装填します。

〈図-15〉

〈図-16〉

⑩エアホースを接続し、トリガロックダイヤルをUNLOCK（アンロック）にセットしてさらにテスト打ちをして適正かどうか確認してください。　**〈図-17〉**

⑪適正であれば調整完了です。不適正であれば以上の手順をくり返してください。

※アジャスタ目盛りの位置を覚えておくと次に使用するときに便利です。

⑫適正状態が得られない場合はエアコンプレッサの空気圧を調整してください。

打込対象物の硬軟、使用するネイルの長短で、多少圧力が違いますので作業前にテスト打ちを行って圧力調整をしてください。

⚠ 警告

●2.25MPa（約23kgf/cm²）を超えた圧力では絶対に使用しない。

⚠ 注意

●打込対象物が硬い場合や使用空気圧が低いと適正な打込み状態を得られない場合（釘浮き等）があります。

9 ネイルづまりの直し方

⚠ 警告

●ネイルづまりを直す時は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

手順

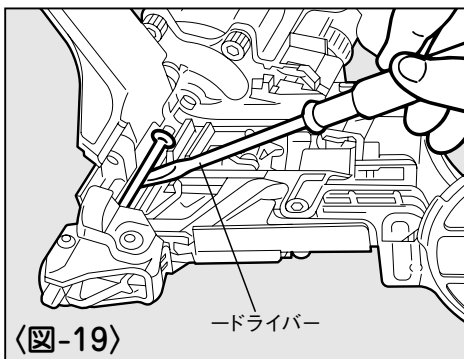
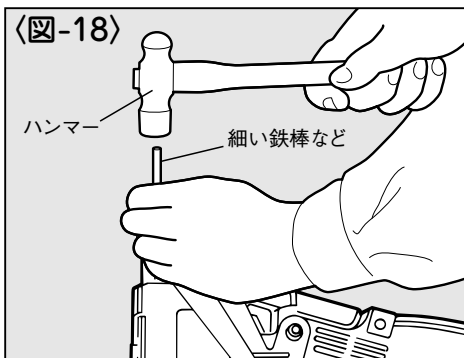
❶トリガをロックし、エアホースをはずします。

❷ネイルをマガジン内より抜き取ります。

❸ドアを開き､射出口より細い鉄棒を入れ､ハンマーでたたくか、ードライバーで取り除きます。 **〈図-18〉〈図-19〉**

❹ネイルを送り爪に再度確実にセットして、ドアを閉じます。

〈図-18〉

〈図-19〉

10 穴狙いガイドの交換について

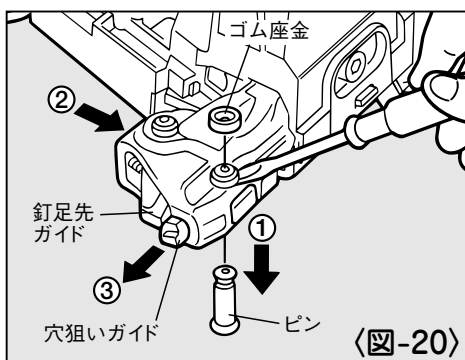
穴狙いガイドは使用頻度により摩耗する部品です。
穴狙いガイドを金具の穴に入れた時にすべりやすくなったら、穴狙いガイドの交換時期ですので必ず交換してください。以下の手順で交換を行ってください。

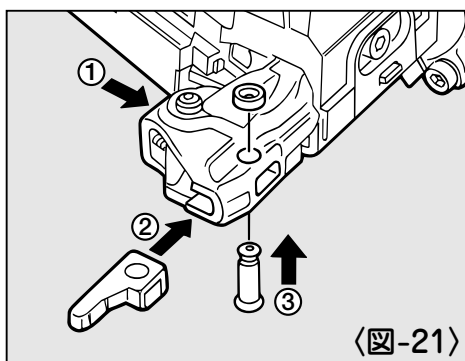
⚠ 警 告

●摩耗した穴狙いガイドを使用しない。
ネイルが飛散したり、釘頭が破損し、飛散して事故につながる恐れがあります。

手順

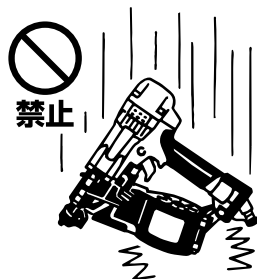
❶ドライバ等でゴム座金をはずし、ピンを抜き取ります。釘足先ガイドを押し、穴狙いガイドを取り外します。〈図-20〉

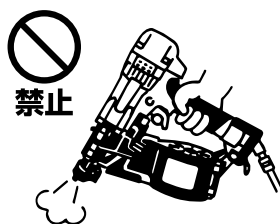
〈図-20〉

❷釘足先ガイドを押し、新しい穴狙いガイドを取り付け、ピンを差し、ゴム座金を取り付けてください。〈図-21〉

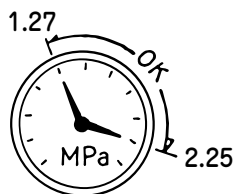
〈図-21〉

穴狙いガイド交換の際は、お買い求めの販売店またはマックスサービス㈱にお申し付けください。

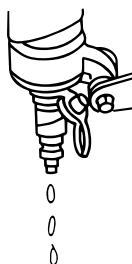
11 性能を維持するために

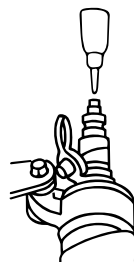
❶本機を大切に使う

落したり、ぶつけたり、叩いたりしますと、変形、亀裂や破損を生じる場合があります。危険ですから絶対に落したり、ぶつけたり、叩いたりしないでください。

❷カラ打ちをしない

ネイルを装填しないでカラ打ちをくり返し行うと各部の耐久性が低下しますのでさけてください。

❸エア圧力を調整し、使用する

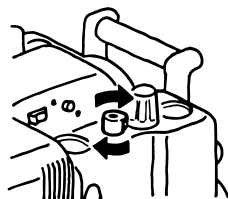
打込対象物に合わせ必ず空気圧を調整し、使用してください。対象物に対して空気圧が高すぎるまま使用しますと各部の耐久性が低下しますのでさけてください。

❹本機の水抜きをする

作業終了時エアプラグを下に向け十分水抜きしてください。

❺指定オイルを注油する

オイルはタービン油1種ISO VG32（JIS1号90番）を必ずお使いください。使用前使用後にエアプラグの口より5～6滴注油してください。指定外のオイルを使用しますと、能力低下や故障の原因となります。

❻エアプラグキャップの使用方法

本機を使用しないときには、機械内部にゴミなど入ると故障の原因となりますので、本機を使用しないときはエアプラグにキャップを装着してください。

❼エアコンプレッサのタンク、補助タンクの水抜きをする

エアコンプレッサのタンク、補助タンクに水がたまると能力低下や故障の原因となりますので定期的に水抜きをしてください。

❽定期的に点検する

本機の性能を維持するために清掃、点検を定期的に行ってください。点検はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱にお申しつけください。

12 カラ打ち時の確認事項

作業中に本機は作動するがネイルが実際に打ち込まれない場合には、下記の事を点検してください。

❶ネイルが送り爪にきちんとセットされているか。

❷送り爪が作動しているかどうか。

※作動していない場合は、エアプラグから5〜6滴注油してください。

❸ネイルがマガジン内でからまっていないか。

❹ネイルサポートの高さがネイルの長さに合わせて適正に調整されているか。

上記❶❷❸❹を確認してもカラ打ちが直らない場合には、お買い求めの販売店またはマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

13 保証、アフターサービスについて

【保証について】

●本機には保証書（梱包箱に添付）がついています。

●所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。

●本機の基本保証期間はお買い上げ日より1年間です。

「お客様登録カード」にて登録手続きしていただいたお客様に限り、保証期間が2年間となります。

【アフターサービスについて】

●本機の調子が悪いときは、使用を中止して、お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱にご相談ください。

●保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合に、ご要望により有償修理させていただきます。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

本社・営業本部	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町６－６	TEL（03）3669-8121㈹
札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東６－１２－８	TEL（011）261-7141㈹
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東２－１－２９	TEL（022）236-4121㈹
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町６－６	TEL（03）3669-8118㈹
水戸営業所	〒310-0043	水戸市松ヶ丘２－３－２７	TEL（029）255-3761㈹
名古屋支店	〒461-0025	名古屋市東区徳川１－１１－２３	TEL（052）935-8531㈹
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川１－３－１８	TEL（06）6444-2031㈹
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音７－１１－２４	TEL（082）291-6331㈹
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田１－５－１	TEL（092）411-5416㈹
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭２－１０－３	TEL（019）621-3541㈹
宇都宮営業所	〒321-0933	宇都宮市簗瀬町２３１３	TEL（028）636-3012㈹
柏営業所	〒277-0871	柏市若柴２９７－１２	TEL（04）7132-1500㈹
多摩営業所	〒190-0022	立川市錦町５－１７－１９	TEL（042）528-3051㈹
浜松営業所	〒433-8117	浜松市高丘東２－２２－１５	TEL（053）439-3300㈹
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町３－２４	TEL（099）269-5347㈹
新潟マックス㈱	〒955-0081	三条市東裏館２－１４－２８	TEL（0256）34-2112㈹
群馬マックス㈱	〒371-0844	前橋市古市町２３３－５	TEL（027）210-7755㈹
埼玉マックス㈱	〒331-0823	さいたま市北区日進町３－４２１	TEL（048）651-5341㈹
千葉マックス㈱	〒284-0001	四街道市大日１８７０－１	TEL（043）422-7400㈹
横浜マックス㈱	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘７－６	TEL（045）364-5661㈹
長野マックス㈱	〒399-0033	松本市笹賀８１５５	TEL（0263）26-4377㈹
長野営業所	〒381-2247	長野市青木島１－３５－１	TEL（026）285-6740㈹
静岡マックス㈱	〒422-8036	静岡市敷地１－３－２６	TEL（054）237-6116㈹
金沢マックス㈱	〒921-8061	金沢市森戸２－１５	TEL（076）240-1871㈹
富山営業所	〒930-0827	富山市上飯野字樋向割１０－８	TEL（076）452-0182㈹
福井営業所	〒918-8237	福井市和田東２－１７１１	TEL（0776）27-3378㈹
京滋マックス㈱	〒612-8414	京都市伏見区竹田段ノ川原町９	TEL（075）645-5061㈹
兵庫マックス㈱	〒652-0832	神戸市兵庫区鍛冶屋町２-１-２	TEL（078）652-7370㈹
三木営業所	〒673-0404	三木市大村１０９－１	TEL（0794）83-2121㈹
岡山マックス㈱	〒700-0971	岡山市野田３－２３－２８	TEL（086）246-9516㈹
四国マックス㈱	〒761-8056	高松市上天神町７６１－３	TEL（087）866-5599㈹
徳島営業所	〒770-0866	徳島市末広１－４－２５	TEL（088）623-0286㈹
松山営業所	〒790-0951	松山市天山２－１－３５	TEL（089）913-0608㈹
マックスサービス㈱札幌	〒060-0041	札幌市中央区大通東６－１２－８	TEL（011）231-6487㈹
マックスサービス㈱仙台	〒984-0002	仙台市若林区卸町東２－１－２９	TEL（022）237-0778㈹
マックスサービス㈱高崎	〒370-0031	高崎市上大類町４１２	TEL（027）350-7820㈹
マックスサービス㈱埼玉	〒331-0823	さいたま市北区日進町３－４２１	TEL（048）667-6448㈹
マックスサービス㈱名古屋	〒461-0025	名古屋市東区徳川１－１１－２３	TEL（052）935-8210㈹
マックスサービス㈱大阪	〒553-0004	大阪市福島区玉川１－３－１８	TEL（06）6446-0815㈹
マックスサービス㈱広島	〒733-0035	広島市西区南観音７－１１－２４	TEL（082）291-5670㈹
マックスサービス㈱福岡	〒812-0006	福岡市博多区上牟田１－５－１	TEL（092）451-6430㈹

●マックスお客様ご相談ダイヤル（無料） **0120-228-358**

月～金曜日 午前9時～午後6時

『ナンバーディスプレイ』を利用しています。

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

050826-00/00